

進捗状況の概要 【1ページ以内】

本構想の実施にあたっては、平成23年3月の協定締結により組織された日本・インドネシア6大学（愛媛大、香川大、高知大、ガジャマダ大、ボゴール農業大、ハサヌディン大）からなるSUIJIコンソーシアムの下、「SUIJIコンソーシアム・サーバントリーダー養成センター」を立ち上げ、コンソーシアムが毎年開催しているSUIJIセミナーにおいて、6大学が事業の進捗状況を評価し、次年度以降の計画を協議する体制を構築した。また、本事業の専任教職員として特定教員を愛媛大学に2名（うち1名はインドネシア人）、香川大学に2名、高知大学に1名配置し、愛媛大学には特定職員2名を配置した。

以上の体制の下、国際基準に基づく質の保証を伴った協働教育の実現を目指し、6大学の兼任教職員と特定教職員が定期的に会合を重ねるとともに、メールでの情報共有、テレビ会議、合宿を随時行い、本構想が掲げる目標の共有、日・イ間で異なるアカデミックカレンダーや履修体系に関する綿密な調査と整理を行い、ガイドライン等の策定と覚書の締結に至った。平成25年度末までに、学士課程から修士課程にいたる多層的なプログラムを実施し、平成24年度には試行的に学士・修士課程あわせて2名（上半期を含めると計44名）を派遣、19名を受け入れ、平成25年度は66名を派遣し、39名を受け入れた。

・**学士課程プログラム**（平成24年度に試行、平成25年度から本格実施）

学士課程においては、これまでの日・イ双方で積み重ねてきた実践型教育プログラムと日・イ学生交流プログラムの経験と実績を発展させ、日・イ6大学の学生が四国とインドネシアの農山漁村に一緒に入り込み、地域の人々と協働して現実の課題に取り組みながら学ぶ国内・海外サービスマーケティングを実施した。平成24年度には試行プログラムとして40名（上半期）を派遣し、14名（下半期）を受け入れ、平成25年度には、サービスマーケティング・プログラムに関する覚書を締結し、58名を派遣、33名を受け入れた。

・**修士課程プログラム**（平成24年度に試行、平成25年度から本格実施）

修士課程における共同学位プログラム（JDP-Ms）は、平成23年9月に締結したJDP-Ms覚書に基づき、平成24年度には試行プログラムを実施し（上半期2名・下半期2名を派遣、下半期5名を受入）、平成25年度には8名を派遣し、6名を受け入れた。このうち、平成25年3月に修士課程を修了した日本人学生2名が、SUIJIコンソーシアムにより、JDP-Msの修了を認定された。派遣・受入学生の選抜にあたっては、6大学で統一の選考基準を設け、プログラムの質の保証を図るとともに、ガイダンス等で、留学先の現地事情、危機管理体制、査証取得手続き等に関する情報を提供した。

・**博士課程プログラム**（平成26年度中に設置、平成27年度から本格実施）

平成25年8月に開催された6大学会議において、博士課程における共同学位プログラム（JDP-Dc）の実施が合意され、平成26年度中の覚書の締結、平成27年度からの実施に向けて準備を開始した。

【プログラムの実施による効果】

以上の取り組みを通じ、プログラム参加を契機とした波及効果も現れ始めている。学士課程プログラムの履修者の中からは、インドネシアへの長期留学を希望する学生7名が平成26年度「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」に申請し、2名が合格に至った。また、インドネシア人学生1名が自ら奨学金を得て日本に長期留学することが決定した。修士課程プログラムに参加した日本人学生3名がそれぞれの留学経験を活かし、インドネシアで事業展開する企業への就職が決定した。

【本構想における中間評価までの交流学生数の実績】

平成24年度				平成25年度			
派遣		受入		派遣		受入	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
31名	2名	28名	19名	51名	66名	37名	39名